



メーカー不明。革ヒモを使って外周を自分で編み込んだ力作。



表面が革の編み込みになっているバッグは「仕事用」バッグ。「通販の時に対応する一式や会社用と自分用の財布を入れてます」



バイクでは頻繁に使うレザーマンコア。バッグは工具入れにもなるアーミーの防水タイプを使用。「このままバイクにつけても大丈夫です」



ニシキヘビの革が縫い込まれた自作ウォレット。



Langlitz
Leathers
PORTLAND, OREGON



シルバーは店売。時計は「地獄商会」張りのロレックス。



「男はダブルだ!」と、16歳の時にアメ横で購入。通常は銀色だが「金色ボタン」にこだわって探したショートのライダーズ。襟のファーは後づけで製作。



着た感じが良く購入。メーカー不明

もはや説明不要の「地獄商会の海賊Tee」はバイカー必須のアイテムなのである。



「POWOW」製の「サ・ガントレ」には絶大の稱賛を持っていて。更にはこれだけでなく新たに購入した「地獄商会」の「合わなかった」



ずっとずっとずっと欲しくてやっと購入したデイトン。



頑丈なのでバイクにも無造作に積める旅用バッグ。



高価なモノに対抗するには自作しかない!

「30歳も過ぎてくると、まわりはみんなイイモノを持ってるんですよ。かなり高価なモノをですね。でも金がないボクにはどう無理をしたら絶対に買えないので、それに対抗するには「自作するしかない!」と思って作ることにしたんです」
そう言う彼の素晴らしい結婚指輪も自作したことだと思ふ。それもプラチナで、である!
もちろんバイクのカスタムもマイセルフで実行してきた。
「とにかく自作ですね。切って叩いて溶接して。ホイールはアイアン用のインベーターだったんですけど、フランジを自作して装着したんです」ただし……
「以前エンジェルズの写真でフレームもタンクもフエンダーも全部がピンク色のチョッパーを見まして。それがカッコ良くて「オトナのチョッパーはフレームも何もかも同色で塗るんだなあ」って勝手に勘違いしましたね。それで全部を水色に塗ったんですよ。ヘルメットも合わせて水色フレックにして。そしたらまんまと1年で飽きちゃいました(苦笑)」
購入は最低限で「作れないもの」に限っており、そういうスタンスで選んで買ったモノにはどれも強い意志がみなぎっている。
「実際は我慢してるようでしてないですよ。だって代用を考えたことはないですから。なければ作るし、作れないものだけを買うんです」

小林太市。31歳。千葉県船橋市出身・在住。「BOP MACHINE」代表。'81年式FXE所有。